

代表質問(要旨)

茨城空港の事業効果は

国際便一日一便で 年間十億円の経済効果

議員(民主) 最近県民の間に茨城空港は税金無駄遣いの温床であるとの意識が広がり危惧している。しかし、この空港は最近できた静岡、神戸空港と比較しても三分の一程度の約八十億円程度でできるなど、県民へのメリットは大きい。本事業の効果はどの程度か。その効果の高さを積極的に県民に伝えるべきではないか。

知事 国が設置管理するため、県の維持管理費がかからず、外国人観光客の増加による経済効果だけを一定の仮定の下に推計してみても国際便一日一便で年間十億円との試算が出ている。今後も県民に対し様々な方法で事業効果の高さをアピールしていく。

議員 住宅供給公社、土地開発公社については十八年度から十年間、経営支援のため血税を投入することになっているが、十年の支援期間は責任が曖昧になり長すぎる。また大規模な住宅団地が期間内に売れるとは到底思えず、これ以上県民負担を増やさないと前倒しで清算するべきではないか。

知事 国では第三セクターや地方公社を整理・再生する際に必要となる経費について、新たに

地方債を発行できる制度を今国会で審議中である。この二つの公社に適用できるかどうか積極的に検討する。

議員 この経済危機の中では大型の企業誘致案件は出てこない。しかし本県の企業誘致は小規模案件には敷居が高いとの声を聞く。小規模な引き合いに対する企業誘致をどのように進めていくのか伺う。

知事 小區画売りは追加のインフラ工事の費用がかかるなど割合高くなるが、専用区画を設け一定期間重点的に募集したり、最小限の整備で区画分割できる場所については千坪程度まで対応する。さらに一部団地での価格値下げや多様な分譲手法の活用などにより小規模案件の積極的誘致を進めていく。

議員 産科医が派遣元の大学病院に引き上げられるため四月から日製日立総合病院の産科機能が休止となる。この地域の地域周産期母子医療センターでもあり一日も早い再開を強く求めたい。それと同時に休止中の周産期医療体制に万全を期さ

なければならぬが、休止中における県北地域の周産期医療体制をどう整備していくか伺う。



茨城空港ターミナルビル(イメージ)

なければならぬが、休止中における県北地域の周産期医療体制をどう整備していくか伺う。

知事 当該地域の周産期医療は県央・県北ブロックの総合周産期母子医療センターである水戸済生会総合病院及び県立こども病院が担当。また県立こども病院については、新生児患者の増加が見込まれることから、GCU※を予定を早め四月から稼働させる。さらに、各総合周産期医療センターに対し、NICU※の増床など、受入体制の充実を働きかけている。
(ほかに、雇用危機への対応、CO2削減のための森林整備なども質問)

今後の文化芸術振興対策は

地域の伝統文化など 文化芸術活動の活性化に努める

議員(公明) 産業と文化芸術は、車の両輪であり、本県は文化芸術大県を目指すべきである。国民文化祭を踏まえた文化芸術振興対策についての知事の所見は。

知事 昨年十一月に開催した国民文化祭を契機に、文化の担い手のすそ野を拡大することができ、全国に誇れる文化的な財産や、行政と団体、住民、学生など地域が一体となって文化イベントに取り組み体制も生まれてきている。

今後は、国民文化祭の成果を生かす一方で、これまで培われてきた芸術文化や地域に根差した伝統文化など、県内の文化芸術活動の活性化に努めるなど、しっかりと文化芸術振興対策に取り組んでいく。

議員 本県企業を取り巻く経済環境は厳しいものがあるが、中小企業対策に対する知事の所見を伺う。

知事 昨年十一月にセーフティネット融資に緊急保証枠を創設し、資金繰り対策に取り組んでおり、年度末の資金需要や今後の厳しい経済見通しを踏まえ、引き続き融資枠を確保する。

また、借り換えにより融資期間を延長し、月々の返済額の軽減を図っているほか、多くの受

注機会の提供や、販路の拡大を図る。

また、経営面、技術面の支援を行うほか、いばらき産業大県創造基金による新たな製品や技術、サービスの開発を通じて、新産業の育成、創出にも積極的に取り組んでいく。

議員(仮称) イオン土浦ショッピングセンターの開業に当たっては、地域のかかわりを強くするなど、県南・土浦の購買力を共有するという取り組みが望まれるが、知事の所見を伺う。

知事 大型店の出店後においても、地元商業者が疲弊することなく営業を継続していけることは地域の商業を守る上でも大変重要なことであるので、今後、地元商業者がテナントとして出店しやすくなるような方策をはじめ、大型店の地域へのかかわりがどうあるべきかについて、大型店と協議、検討していく。

なお、出店を希望する地元商業者に対しては、引き続き支援していく。

議員 コイヘルペスウイルスの

影響で、本県のコイ養殖産業は休止の状況にあり、関係漁業者も再開を待ち望んでいる。コイ養殖への今後の取り組みについて、知事の所見を伺う。



国民文化祭でのオペラ「小野小町百年の恋」

知事 養殖を再開する上で必要となる生産技術や流通方法の点では、養殖を再開しても再び大量へい死やまん延を生じさせることなく生産が行える体制が整ってきている。また、養殖業者からは、霞ヶ浦の水質浄化に配慮し、養殖施設をほぼ半減するよう努力をしているところと伺っており、コイ養殖の再開に向けて現在検討を行っている。
(ほかに、救急医療体制の充実、教育振興対策なども質問)

※【GCU】…新生児後方病室(Growing Care Unit)。NICUで高度な集中治療を受けて容態が落ち着いた新生児が退院の準備などをする施設。
※【NICU】…新生児集中治療室(Neonatal Intensive Care Unit)。重症の新生児などが高度な医療を受けられる施設。